

# 太良

議会だより  
News from the Assembly



太良町

令和2年度一般会計予算

**77億3,200万**

## contents 3月定例会

- 3月定例会議案審議 …………… 1~4P
- 議案Q&A …………… 5~6P
- 一般質問 …………… 7~10P
- 調査報告等 …………… 11~12P
- 議会の主な活動 …………… 13P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集特別委員会  
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6  
TEL 0954-67-2151

<https://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。  
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。



**No.156**

令和2(2020)年4月22日発行  
初版発行 / 昭和56年8月1日

【太良球場横の河津桜】

# 3月定例会

会期/3月2日~11日(10日間)

## 令和2年度当初予算

会計名	予算額	前年度比
太良町一般会計	77億3,200万円	10.0%
太良町後期高齢者医療特別会計	1億4,100万円	6.0%
太良町国民健康保険特別会計	14億4,600万円	8.9%
太良町漁業集落排水特別会計	5,560万円	△14.2%
太良町簡易水道特別会計	1億円	42.9%
太良町水道事業会計	7,380万円	1.8%
町立太良病院事業会計	14億5,821万円	9.2%
<b>総計</b>	<b>110億661万円</b>	<b>9.7%</b>

## 令和2年度 一般会計の主な事業 ※財政課作成の主要事業説明より抜粋

防犯カメラ設置事業 (防犯対策として町内に防犯カメラを概ね 20 台設置)	1,278 万 2 千円
ふるさと応援寄附金事業 (ふるさと応援寄附に対する謝礼等)	6 億 964 万円
地域公共交通 (タクシー) 利用助成事業 (交通弱者の移動手段確保のためのタクシー券助成)	746 万 1 千円
コミュニティバス運営事業 (今年度試験運行、来年度本格運行のためのコミュニティバス 2 台の購入外)	3,496 万 4 千円
結婚祝金 (結婚された夫婦に祝金を贈る事業)	460 万円
敬老祝金 (75 歳、80 歳、85 歳、88 歳及び 90 歳以上の高齢者へ祝金を贈る事業)	891 万 5 千円
誕生祝金 (子どもが生まれた時に祝金を贈る事業)	820 万円
子どもの医療費助成 (高校生 (18 歳) までの医療費の助成)	3,252 万円
高齢者保健事業 (高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施する事業)	760 万円
親元就農給付金 (新規就農者に対し 1 人当たり年間 36 万円を給付)	360 万円
さが園芸生産 888 億円推進事業費補助金 (根域制限栽培施設や省力化機械等の整備に対する補助)	1,561 万 6 千円
ため池ハザードマップ作成業務委託料 (非常時における避難経路や避難場所を記載したマップの作成)	1,640 万円
広域農道舗装補修事業 (路面舗装工事、2 区間 L=745m)	6,000 万円
森林整備推進事業 (森林環境譲与税を財源とした森林経営管理業務外)	736 万 9 千円
林道橋梁維持補修事業 (帆柱橋の上部工施工に係る工事)	3,700 万円
親元就漁給付金 (新規就漁者に対し 1 人当たり年間 36 万円を給付)	252 万円
水産物供給基盤整備事業 (道越漁港 (道越地区) 浚渫に係る工事)	1 億 4,300 万円
観光客誘客事業補助金 (町内への宿泊や消費喚起を促すための事業に対する補助)	1,520 万円
定住促進住宅建設事業 (亀ノ浦地区に集合住宅 4 棟 12 戸を建設するための経費)	2 億 5,400 万円
学校施設整備改修事業 (小学校及び中学校洋式トイレ便座の暖房化外)	845 万円
入学・卒業祝金 (小学校等入学時及び中学校卒業時に祝金を贈る事業)	405 万円
国民スポーツ大会推進費 (令和 5 年開催予定の国民スポーツ大会佐賀大会に向けた準備室の設置経費)	780 万 1 千円
B&G運動広場整備事業 (国民スポーツ大会佐賀大会の会場となる B&G 運動広場の整備に係る経費)	1 億 9,360 万円
学校給食費補助金 (学校給食費保護者負担分の補助)	3,048 万 9 千円

## 平成31年度 補正後予算総額(一般会計) 72億3,243万7千円

### 主な増額補正

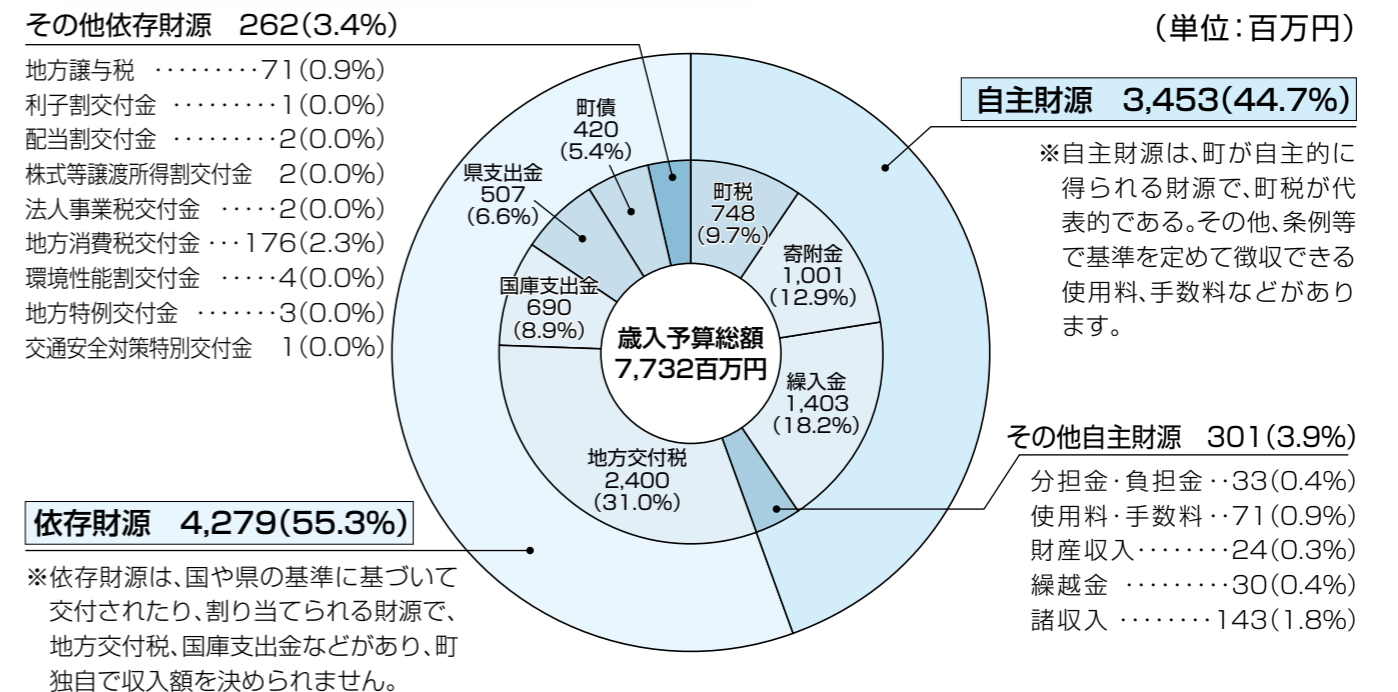
ふるさと応援寄附金事業 謝礼 (寄附金の増)	3,220 万円
ふるさと応援寄附金事業 インターネット広告料 (寄附金の増)	660 万円
ふるさと応援寄附金基金積立金 (寄附金の増)	2 億円
森林環境譲与税基金積立金 (額の確定による)	412 万 2 千円
橋梁維持補修事業 (事業費の見直し及び国の補正予算に係る事業量の増)	3,350 万円

# 令和2年度予算決まる

## コミュニティバス事業に約 3,500 万円

予算総額 一般会計・・・77億3,200万円

## 令和2年度歳入予算



※構成比 (%) は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならないことがあります。

## 令和2年度歳出予算

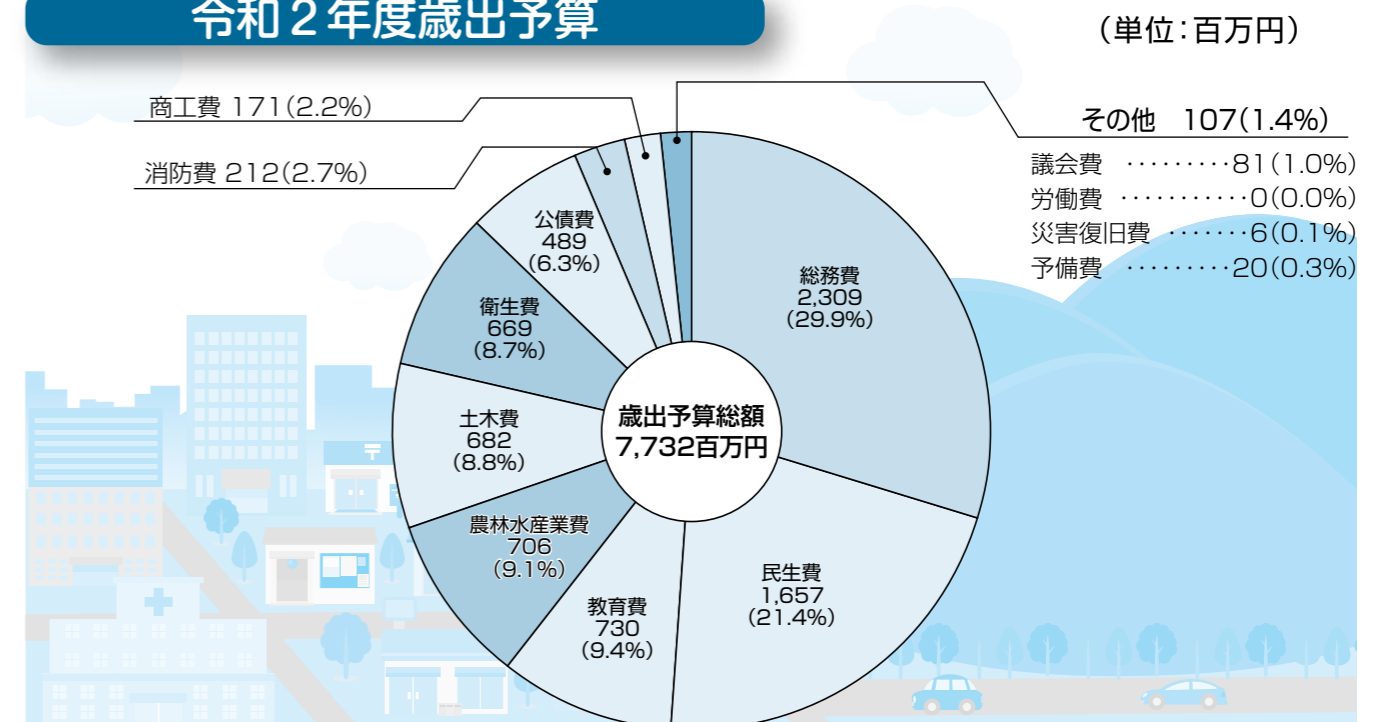


Table with columns for proposal number, title, decision result, and council members (1-11). Contains 26 items including budget amendments and committee appointments.

3月定例会審議結果

3月定例会は、条例議案8件、事件議案2件、補正予算7件、新年度予算7件及び人事案件2件の計26件が町長より提案されました。審議結果は次のとおりです。

賛成=○ 反対=× 欠席=欠 退席=退 ※議長は採決に加わらない。

Table with columns for proposal number, title, decision result, and council members (1-11). Contains 12 items including ordinance amendments and budget proposals.

# 議案 Q&A

## 新年度予算



- Q 子供見守り防犯カメラの設置場所はどこか。  
A 多良地区5箇所、大浦地区15箇所を想定している。
- Q タクシー利用助成の一回あたりの枚数制限を撤廃出来ないか。  
A 利用者にとって使いやすいよう利用制限を見直していく。
- Q コミュニティバスの運行開始時期はいつで利用料はいくらか。  
A 試験運行を令和2年10月から開始する。利用料は一回200円を想定。
- Q コミュニティバス運行後のタクシー利用助成はどうなるか。  
A タクシー利用助成はコミュニティバスのルートに近い地域については、除外する。
- Q 地域づくり事業補助の特産品開発・産業開発を除外したのはなぜか。  
A 特産品開発については、太良町全体への公益的波及効果が低いことと、産業開発は需要が少ないため。
- Q 油津児童館の解体後の利用計画はあるか。  
A 今のところ利用計画はない。
- Q ため池ハザードマップ作成業務委託料の1640万円の内容は。  
A 県が町内10カ所を重点防災ため池として指定し、豪雨や地震発生時に避難経路や避難場所を作成するために現地調査や氾濫解析などを行う費用。
- Q コロナウイルスによる観光客減についての対応はどのように検討しているか。  
A 3月計上の予算では組んでいないが、収束後、今後の補正予算で観光客再集客についての施策を検討したい。
- Q 亀の浦定住促進住宅のスケジュールは。入居資格や家賃は。  
A 国費の交付決定が6月位となり、7月位に工事着工、竣工が翌年3月予定。入居開始を令和3年の4月予定。募集は令和2年の10月位開始を予定している。入居資格はパレットたらと同等の新婚世帯、子育て世帯を想定。家賃も同等を考えている。
- Q 大橋記念図書館外構整備事業、1691万円の内容は。  
A 駐車場の利便性を高めるため、駐車場周りの舗装をやり直したり拡張したりする。プレハブの倉庫を2棟設置する。
- Q 令和5年の国民スポーツ大会、ソフトボール少年女子誘致活動の令和2年度の内容は。  
A 設立委員会を立ち上げ、準備を開始する。今年の鹿児島国体の視察、また調査などを行っていく。



# 議案 Q&A

## 条例改正・補正予算



- Q 太良町中小企業資金貸付けの引き上げ額と理由は。  
A 融資限度額を7百万円から1千万円に引き上げ、事業の経営安定化を図ることを目的とする。
- Q 農業基盤整備事業費補助金が補正減されているが当初の予定件数をどれくらい下回ったのか。  
A 当初予算で畑660a、20件、2,640万円。畦畔で1,125m、10件、360万円を予定。実績が畑416a、9件、1,540万円。畦畔のコンクリート588m、6件、188万円。結果不用額、1,272万円を減額。
- Q ふるさと納税寄付金の推移と人気がある返礼品は何か。  
A 平成30年度 約9億円、令和元年約10億6000万円。  
①黒酢みかん、②ハム・ソーセージ、③みかん類である。
- Q 町立太良病院の報償費253万円の増額補正内容は。  
A 外部医師の診療及び当直回数の増によるもので火曜日の午後、整形外科の診療を新しく始めた。それらがすべて増加。火曜日の当直を月1~2回分と、土日祝日の当直の分。

## 白石町議会より行政視察

令和2年1月27日(月)、白石町議会産業建設常任委員会より委員等7名の方が、「定住促進住宅整備事業について」をテーマに視察研修のため来町されました。

白石町では、本町同様人口減少が著しく、「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた移住・定住人口確保のため諸施策を実施してはいるものの、効果が表れず苦慮しているということでした。

研修では、担当者が太良町定住促進住宅整備事業の概要等の説明のあと、家賃決定までの経緯や今後の住宅整備計画等、移住・定住に関する自治体が抱える問題、課題等について意見交換を行い各委員から熱心な質問が寄せられました。



## ～持続可能な地域社会の確立を目指し～

2月19日(水)、佐賀市グランドはがくれにて、山口祥義佐賀県知事外を来賓に迎えて第73回佐賀県町村議会議長会定期総会が開催されました。

総会では、令和2年度事業計画や予算(案)など5議案が可決・認定され、松尾会長(有田町議会議長)からは「地方議員のなり手確保に向け、選挙公営の拡大と厚生年金への加入は待ったなしの最重要課題である」と改善への意欲を挨拶の中で述べられました。

また、町のさらなる振興発展と真の分権型社会を確立するため、「議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備」「地方創生のさらなる推進」「分権型社会の実現と道州制導入反対」など19項目の決議が満場一致で採択されました。



# 一般質問

待永 るい子議員

## 今後の行政職員の体制づくりは

### 答▽若者の雇用を目指し正規職員増を図る

#### 会計年度任用職員について

**議員** 現在役場の正規職員と非正規職員はそれぞれ何人いるのか。

**総務課長** 正規職員は98名、非正規職員は延べ91名。

**議員** 会計年度の任用職員の待遇はどう変わるのか。

**総務課長** 地方公務員の職務規定が適用され、期末手当や有給休暇などが大幅に変わる。

**議員** 会計年度任用職員制度の導入で人件費はどれくらい増加するのか。その財源はどうするのか。

**総務課長** 2千5百19万円千円ほど増加し、一般財源を充てる予定。

**議員** 国からの補助金は出るのか。

**総務課長** 期末手当の分は交付税措置をするといった報道はあっているが、具体的に示されていない。

**議員** 人件費が高騰すれば他のサービスを削る事情も出てくるが、どのような対策を考えているのか。

**財政課長** 今後はそれぞれの経費、事業などの見直しが必要になる。

**議員** 定型業務の自動化や委託業務の増加についてはどう考えているのか。

**総務課長** AIの活用やRPA等の導入など先進地に学び、事務の簡素化、効率化の研究をしていく必要がある。

**議員** 類似団体別職員数と呼ばれる、太良町に必要な地方公務員の人数はどれくらいか。

**総務課長** 平成31年3月の統計データによると平均155・33人だが太良町は類似団体全96団体中94・39人で少ない方から4番に位置している。

**議員** 会計年度任用職員と正規職員の人数を考慮し、今後はどのように調整して

いくつもりか。

**町長** 正規職員の数4番目に少ない事など考え、会計年度任用職員を減らし、若者を中心に正規職員増を図っていききたい。

**議員** 第5次太良町総合計画の行財政改革推進の成果を上げて欲しいが。

**財政課長** 経費等の抑制は従来の課題であり、目標に向かって進みたい。

### 地域包括ケアシステム

**議員** 地域包括ケアシステムとはどんなことか。

**町民福祉課長** 高齢者が在宅で生活できるよう、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防が一体的に提供される仕組み。

**議員** 生活支援体制整備事業の進捗状況は。

**町民福祉課長** 幸せの町づくりサポーターを組織して、町の生活課題の解決に向け

て取り組んでいる。

**議員** 認知症サポーターの養成状況は。

**町民福祉課長** 2月末で334名の養成、町職員も令和2年度から職員研修の一環として取り組む。

**議員** 太良町の介護認定率は19・4%だが、どのように考えるか。

**町民福祉課長** 杵藤地区管内の市町と比べても、妥当な認定率と考える。



(甘酒PRポスター)

**議員** 本町は創業支援費補助金として3000万円を拠出しており、事業計画、経営方針見直書の提出を求めるときではないか。

**企画商工課長** 毎月の事業報告は受けており、事業計画書の作成は指示している。

**議員** 創業支援費補助金3000万円の使い方はどうか。

**企画商工課長** 貸借対照表では固定資産が1396万円、開業費が608万円、流動資産が1298万円となり、うち約300万円は代表取締役の出資となっている。

**議員** タララボの運営が本町の経済向上に好影響を与えるよう、指導をお願いする。

注1 豚コレラの呼称が豚熱に変更

# 一般質問

竹下 泰信議員

## 家畜伝染病の防疫状況はどうか

### 答▽家畜伝染病予防法の防疫対策規程に基づき実施

**議員** 農林水産省はアフリカ豚熱(注1)が東欧、中国、韓国など発生が拡大しているため、本年2月に防疫指針を公表した。

また、豚熱はH30年9月に岐阜県で発生以来、本年2月まで、沖縄県など1府9県で16・4万頭が殺処分

分されている。これらの防疫対策はどうか。

**町長** 家畜伝染病予防法の防疫対策規程に基づき実施し、本町では関連事業としてアフリカ豚熱侵入防止対策緊急支援事業など行っている。万が一、発生した場合、太良町特定家畜伝染病対策本部を設置して対応する。

**議員** 現在、町内の家畜飼養農家数と飼養頭羽数はどうなっているか。

**農林水産課長** 平成30年度末で豚9戸で1万7002頭、牛33戸で1767頭、鶏15戸で99万8000羽である。

**議員** アフリカ豚熱と豚熱

の飼養衛生管理基準の内容と飼養農家への周知・指導はどうされているか。

**農林水産課長** 管理基準は国が定め、家畜の衛生状況の確保、健康管理の記録等を行うことになっている。管理基準の遵守は西部家畜保険衛生所の職員と担当者が同行して実施。定期的な会議は行っていないが、県が現地巡回調査を随時実施している。

**議員** 佐賀県の管理基準遵守の状況がH29年3月に公表されている。これによると牛・豚の農場数が836農場あって、うち220農場(26%)が指導を受けている。本町の状況はどうか。

**農林水産課長** 令和元年度に県が行った本町の遵守状況は、豚と鶏の事業者の指導言は0件で、牛は口頭での指導が数件ある程度で特に問題はない。

**議員** 万が一発生した場合、殺処分や移動、搬出制限区域が設定されるが、対応はどうか。

**農林水産課長** 本町は一边12kmの三角形をしている。封じ込めが必要な家畜伝染病が発生すると、町全体が移動制限、搬出制限になる可能性は非常に高い。

### 株タララボの事業の進捗状況はどうか

**議員** 本町はH30年3月に株タララボと連携協定書を取交わり、産業振興に関して協力して取り組むことになっているが、状況はどうか。

**町長** 事業計画では2020年1月時点で甘酒の月間販売本数は約3万本、売上額は1200万円となっていたが、現状は月産1200本、43万円程度となっている。原因は製造を担当する酒造会社のトップが引退し、経営方針を変更したためである。



**町長** 令和2年度から3年度までは880万円となり、令和6年度まで増額され、そ

**議員** 森林環境譲与税の本町への交付額と使途は。

**多良岳2000年の森 実現に向けた取組について**

**答** 協議をしながら、将来の子どもたちが200年後に良くなったと言ってもらえる森に育みます。

**多良岳2000年の森構想は単なる問題の先送りではなくどう理解でしょうか。**

### 一般質問

山口 一生議員

の後は1360万円で推移する。

**議員** 最初の主伐に150年となるが、150年後の人口はどれほどか。

**町長** 予測がつかない。

**議員** 150年間伐を含む管理が必要だが、その間の人員や予算をどうするか。

**町長** 2000年の森に限らず太良町有林の管理責任があります。財源として、山林育成基金や一般財源からの充当を予定している。

**議員** 町内産木材を使用した単身用長屋を建設してはどうか。

**町長** 新婚世帯・子育て世



**議員** 先人の生活や歴史的資料を後世に残し、郷土愛を育むことを目的として設立された、太良町歴史民俗資料館の利用に質問する。過去3年間の利用者数の推移について、どうなっ

**歴史民俗資料館の活用について**

ているか。

**教育長** 過去3年間の利用者数は、平成28年度866名、平成29年度895名、平成30年度917名となっている。

**議員** 資料館の資料や道具などを活用した子どもの体験学習を実施しているか。

**教育長** 資料や道具を活用した体験学習は実施していない。

**議員** 体験学習の際に、地元の歴史に詳しい方や農林漁業を営む方を講師として招き、活動してもらうのはどうか。

**教育長** 現在のところ体験学習の実施については考え

### 一般質問

西田 辰実議員

**遊漁船などで町の魅力を発信したらどうか**

**答** 民間で挑戦する事業者があれば支援する



ていない。講師の活動についても予定はない。

**町の活性化について**

**議員** 農業のオーナー制など、観光農園について取り組んだらどうか。

**企画商工課長** やる気のある農業者の方々が観光について頑張っていきたいという話があったら、町としても一緒に考えていきたい。

**議員** 町内のノリ業者が非常に少なくなっている。太良町の観光資源として、海中鳥居、竹崎カニ、カキ焼きを連携して、観光のPR

として観光船、遊漁船を使ってお島さん巡りとかいろんな魅力を発信してはどうか。

**町長** そういった取り組みに民間で挑戦される事業者があれば、観光協会を通じて支援する方法はあると思う。

**議員** ボランティアガイドの育成と活用の現状はどうか。

**町長** 諫早市と共同で実施している多良海道においては、街道観光案内人の養成が行われており、太良町の登録者は6名である。また、多良山歩会が有料の登山ガイド活動をされている。一方、栄町の海中鳥居に無償で活動されておられる個人の方がいらっしゃる。

**議員** 多良海道などのガイドをもっと増やして、よそから来たお客様へ太良町をPRしたらどうか。

**町長** ガイドのニーズがさらに高まるなら対応を検討したい。



**町長** 国、県、他市町、及びその他防災各機関と相互に連携し応急策を実施する。

**議員** 災害復旧時には自衛隊の支援が重要であるが、部隊の展開する場所の想定は。

**町長** 部隊の宿舎、駐車場の場所は健康広場としている。

**議員** 被災ごみの受入場所と受入可能な量は。

**町長** 「太良町地域防災計画」において、太良球場及び広江埋立地を計画している。災害の種類、場所により、2箇所では対応出来ない可能性があるため、町内各所に候補地を選定していく必要がある。

**議員** 独居高齢者を含む要支援者の救済計画はどうか。

**町民福祉課長** 災害時要援護者避難支援計画により、希望者は事前確認の上、発生時の対応を計画している。

帯を対象とした定住促進住宅の建設を予定しており、その後については要望・需要を精査し検討する。

**議員** 広葉樹植栽の請願書に対する対応進捗はどうか。

**町長** 現在、町としての事業の位置付けや場所、樹種などについて内部検討を行っている。

**議員** 今回、小学生の机を制作するにあたり、諸富家具へ製造委託されているが、町内の木工職人への制作委託は考えているか。

**農林水産課長** 町内の木工技術をもっている方への委託も今後は検討していきたい。

**議員** 林業大学の創設が全国各地で行われているが、本町でも後継者育成に向けて設立を出来ないか。

**農林水産課長** 林業教育に適した人材が充実しているため、佐賀県内でも創設には適していると考える。

### 災害に対する備えについて

**議員** 災害時の食料や生活用品、トイレなどの備蓄状況はどうなっているか。

**総務課長** 食料2500食、飲料水4000リットル、簡易トイレ300枚。目標値としては、人口の5%に對し3食を3日間提供可能な量。

**議員** 災害対応時における受援体制の構築はどうなっているか。

## 観光資源の掘り興しで活性化

### ～経済建設常任委員会～

当委員会では、1月20日太良町観光協会と竹崎かに旅館組合の役員の方々と「オルレ」や「海中鳥居」などを活用した観光事業の推進について、意見交換を行いました。

オルレについて参加者は、導入先の嬉野市の状況など、事前に把握されており、メリットとして宿泊客の増加、健康気運の中で観光振興として期待できる、コース設定により町内観光施設の整備もできるなど、前向きな意見が出されました。

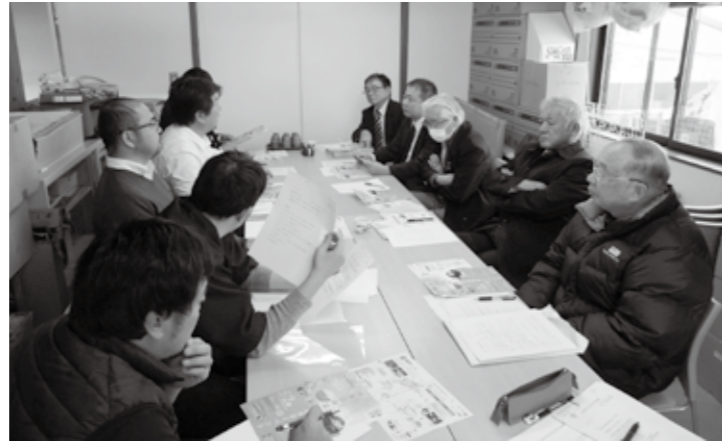
一方、事業の運営主体やコース設定はどうするのか、コースの維持管理のどこが行うかなど、課題も出ました。

この事業を実施するには、行政のリーダーシップと民間のサポートが欠かせないことを認識しました。

海中鳥居は、地区の有志による「千の灯籠祭り」の開催や観光バスツアーのコースにも組み込まれており、年間1万を超える観光客が訪れています。これを活かした観光事業について、意見交換を行いました。

この中では、キッチンカーなど利用して地場産品のPR、絵馬などの開発・販売、コミュニティバスを活用した旅館の宿泊、休憩などに繋げてはどうか、などの意見が出されました。その他、干潮時に出現するオブジェの作成、コミュニティバスのバス停を「竹崎かに」のフィギュアにするなど意見、提案もありました。

これからの交流人口の必要性や観光振興の方向性など、共通認識を深めることができました。



## 認知症を学ぶ

高齢化が進む太良町において認知症への理解を深めようと、全議員は、2月18日に「認知症サポーター」養成講座を受講しました。

太良町社会福祉協議会議員で、認知症地域支援推進委員の江藤ケイ子さんを講師に迎え、認知症とはどういうものなのか、また、認知症サポーターとはどんなことをやるのかなどを学びました。



### <認知症について>

- 脳細胞の死滅などで障害が起こり、生活上の支障をきたす状態
- 早期発見、早期受診、早期治療が大事（進行を遅らせる）
- 驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない対応

### <認知症サポーターとは>

- 厚生労働省の事業で講座を1回受講すればなれる
- 特別なことをやるのではなく、認知症の人やその家族の「応援者」
- 一声かけたり、見守ったりして側面から支援する

## 生まれ育った地域で自分らしく生活していくために

### ～総務常任委員会～

**日時** 令和2年1月28日 役場3階大会議室

**協議者** 地域包括支援センター 太良町社会福祉協議会

**テーマ** 地域包括ケアシステムについて



本町の高齢化等への取り組みは2025年問題を避けて通ることができません。介護保険料も将来的に増加傾向の状況の下、医療・介護の従事者不足や認知症高齢者も増え続け、対象者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで送りたいという希望が多くあるが非常に厳しい状況にある。公的サービスだけでなく地域力を活用しながら相互にサポートする仕組みが必要となってきています。

### <これまでの取り組み>

1. 町内の意思統一を図るため医療・介護の専門職による会議・勉強会や研究会の実施
2. 生活支援コーディネーターを中心に介護予防・生活支援サービスの充実のための体制整備
3. 町立太良病院を中心に町民を対象とした公開講座や医療・介護従事者の研修会の実施。在宅医療・介護連携推進

### <今後の課題>

1. 認知症（理解）の啓発、普及活動を実施  
広報誌の活用、認知症講座、カフェの認知、本人やサポーターの登録
2. 対応が困難な事例を中心に定期的家庭訪問等による認知症初期集中支援
3. 医療機関、地域の支援機関との連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援相談業務

## 災害時の対応と反省

2月6日、白石町の道の駅しろいし2階会議室にて、杵藤地区町村議会議員研修会が開催されました。

「令和元年佐賀豪雨災害における大町町の対応について」というテーマで、大町町副町長三角治氏より講話がありました。

- 情報の収集、連絡、共有、発信が最重要
- 自衛隊、国、県、消防、警察、NPOやボランティア団体との連携が大切

その他、避難所、援助物資、ゴミ置き場、罹災証明など実際に携わったものについての話をしてもらい、とても参考になりました。



## スポーツが切り拓く新しい佐賀 —市町行政後援会—

1月24日、佐賀県市町村振興協会が主催し、佐賀市文化会館で市町の議員や職員を対象に、行政講演会が開催されました。スポーツ庁長官鈴木大地氏が「スポーツが変える。未来を創る。」をテーマに基調講演。

その後、山口祥義県知事、樋口久俊鹿島市長、有吉佐織サッカー日本女子代表が加わり、4名のトークセッションが行われました。

この概要は、世界に挑戦するトップアスリートの育成を通じ、人づくり、地域づくりを行うSSP（SAGAスポーツピラミッド構想）と、2023年に佐賀県で開催予定の国民スポーツ大会（現、国民体育大会）、全国障害者スポーツ大会を成功させ、喜びや感動などを佐賀から発信しようという内容でした。



議会の主な活動

1月～3月

- 3月
  - 26 全員協議会
  - 25 全員協議会
  - 25 タララボ事業報告会
  - 24 議会広報編集特別委員会
  - 11 議案審議
  - 10 議案審議
  - 9 議案審議
  - 5 議案調査
  - 4 一般質問
  - 2 全員協議会
  - 2 3月定例会招集
- 2月
  - 26 議会運営委員会
  - 25 佐賀県西部広域環境組合第1回定例会
  - 21 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会
  - 20 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
  - 19 佐賀県町村議会議長会定期総会
  - 18 第4回公共交通対策特別委員会
  - 18 認知症サポーター養成講座
  - 18 全員協議会
  - 15 第17回太良町社会福祉大会
  - 13 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会2月定例会
  - 6 多良駅無人駅に関する説明会
  - 6 杵藤地区町村議会議長会議員研修会
  - 3 第39回太良町青少年育成町民大会
- 1月
  - 30 令和元年度同和問題地区別研修講座
  - 28 総務常任委員会所管事務調査
  - 27 白石町議会産業建設常任委員会行政視察来町
  - 24 市町行政講演会
  - 24 令和元年度市町村議会議員研修
  - 23 太良町営山林運営委員会先進地視察
  - 20 経済建設常任委員会所管事務調査
  - 15 全員協議会
  - 14 議会広報編集特別委員会
  - 9 令和元年度市町村議会議員研修
  - 7 議会広報編集特別委員会
  - 5 太良町消防出初式
  - 4 令和2年成人式
  - 4 第47回太良町新春マラソン大会



令和2年度（1月～3月分）  
議長交際費の支出状況

区分	件数	支出額(円)
祝儀	—	—
会費	1	5,000
慶弔	—	—
贈呈	—	—
謝礼	—	—
その他	—	—
合計	1	5,000

## 議会クイズ！

### お買物券が当たる！

Q 令和5年に佐賀国民スポーツ大会が開催されます。太良町で開催される競技は何でしょうか。

A ① 柔道 ② テニス ③ 少年女子ソフトボール

ヒント：太良町B&G運動広場

解った方は、ハガキに答えを明記し、一言メッセージ、住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698 太良町大字多良1-6  
太良町議会事務局「議会クイズ係」宛

※締め切り／5月15日(金) 消印有効  
※当選発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。

みなさーん  
議会に対する意見  
などをどんどんお寄せ  
下さい。

編集室より

「緊急事態」と、政府は四月七日宣言した。新型コロナウイルスの感染拡大に備える改正特別措置法に基づき七都府県で、期間五月六日迄と表明された。

感染源不明者が増加するとともに、世界全体で多数の死亡者が発生している。

国内でも急速に感染者が蔓延し医療現場は危機的状況となり、国民生活や経済に甚大な影響を及ぼす段階に入ったと判断された。

このため、三密つまり密閉(換気の悪い室内)・密集(多数集る)密接(間近で会話)に留意し、自ら人との接触を避けることが求められている。

自由が制限されるが、歴史的な重みを認識し、一人一人の自覚と自制心が問われている。

編集委員会

- 委員長 田川 浩
- 副委員長 竹下 泰信
- 委員 山口 一生
- 委員 西田 辰実
- 委員 松崎 近